

第15章 冷戦と第三世界の独立

1. 戦後世界秩序の形成

<国際連合の成立>

- 1941.8 大西洋憲章……チャーチル、ローズヴェルトの会談
1944.8-10 ダンバートン・オークス会議……米・英・中・ソにより憲章草案作成
1945.4 サンフランシスコ会議……連合 50 国、国際連合憲章を採択
.10 国際連合成立

戦後経済……1944.7 ブレトン・ウッズ協定

- IMF (国際通貨基金)、IBRD (国際復興開発銀行)
GATT (関税及び貿易に関する一般協定、→現 WTO 世界貿易機構)
ドルを基軸通貨とする固定為替相場制 (~ 1973 変動相場制移行)

<戦後処理>

- ▶ パリ講和条約(1947)……イタリア、フィンランド、ハンガリー、ブルガリア、ルーマニア対象
- ▶ ドイツ・オーストリア
それぞれ米・英・仏・ソ4国で分割占領、ベルリン・ウィーン市も同様
ニュルンベルク国際軍事裁判 (ゲーリングら死刑)
ドイツの東側国境……オーデル川・ナイセ川
以東はポーランド領となり、ドイツ人は強制移住させられる。
→ポーランドの東側国境はカーゾン線 (ベラルーシ等はソ連領)

- ▶ 日本 東京国際軍事裁判……東条英機ら死刑
事実上アメリカ1国による占領 (GHQ、マッカーサー)
財閥解体・農地改革など経済民主化、平和憲法制定
→中華人民共和国成立、朝鮮戦争勃発でアメリカの政策転換

- ↓
- 1951.9/8 サンフランシスコ講和会議……48カ国と講和条約調印
インドネシアは調印したが批准せず
ソ連・ポーランド・チェコスロヴァキアは出席したが調印せず
インド・ビルマ・ユーゴスラヴィアは招かれたが出席せず
中華人民共和国・中華民国は招かれず
同日、日米安全保障条約も調印。

- 1952 中華民国・インドと平和条約。ユーゴ、ビルマとも戦争状態終了
1956 日ソ共同宣言 (平和条約は未締結。北方領土問題未解決)
1957 インドネシアと平和条約。チェコ・ポーランドと国交回復、戦争状態終了
1965 日韓基本条約 (52年、韓国軍、一方的に竹島上陸)
1972 中華人民共和国と日中共同声明、国交正常化→中華民国 (台湾) と断交
1978 日中平和友好条約

※インド・中国など多くの国が賠償金請求放棄
フィリピン・インドネシア・ビルマ・南ヴェトナムには賠償金支払い
(総額10億ドル、'76年完了。日本の商社からの物資供与の形 = 金は商社の懐へ)

冷戦 (Cold War) 年表

西側 資本主義陣営		東側 社会主義陣営	
1946.3	チャーチル「 <u>鉄のカーテン</u> 」演説	←→	東欧諸国の社会主義化
1947.3	<u>トルーマン・ドクトリン</u> (封じ込め政策) ギリシア・トルコに経済援助		46.1 アルバニア、.2 ハンガリー、.9 ブルガリア 47.12 ルーマニア、48.2 ポーランド、チェコ (下参照)
.6	<u>マーシャル・プラン</u> (ヨーロッパ経済復興援助計画)	←→	1947.9 <u>コミンフォルム</u> (共産党情報局) 仏伊の共産党も加盟、ユーゴは翌年脱退
1948.3	<u>西ヨーロッパ連合条約</u> (ブリュッセル条約、英・仏・ベネルクス3国)	←→	1948.2 チェコ政変
.4	OEEC (ヨーロッパ経済協力機構) 発足 → '61 OECD マーシャル・プランを 16 カ国が受け入れ	←	
1948.6/24 ~ '49.5/12 <u>ベルリン封鎖</u> ドイツ西側占領地の通貨改革に対し、ソ連が反発し西ベルリンへの陸上交通遮断 ⇔ 西側諸国は西ベルリンへ生活必需品を空輸して対抗 (ベルリン空輸)			
1948.8	<u>大韓民国</u> 建国	←→	1948.9 <u>朝鮮民主主義人民共和国</u> (北朝鮮) 建国
1949.4	<u>NATO</u> (北大西洋条約機構) 発足 中華民国 (国民党) 政府は台湾へ	←→	1949.2 <u>COMECON</u> (経済相互援助会議) 発足 ← .10/1 <u>中華人民共和国</u> 建国
.5/23	<u>ドイツ連邦共和国</u> (西独) 建国	←→	.10/7 <u>ドイツ民主共和国</u> (東独) 建国
1950.5	<u>シューマン・プラン</u> (仏外相による) '51.4 ECSC (ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体)		1950.2 中ソ友好同盟相互援助条約
1950.6 ~ 1953.7 <u>朝鮮戦争</u>			
1951.9	サンフランシスコ講和条約 (対日本)		1953.3 スターリン死去
1954.9	SEATO (東南アジア条約機構) ←→		1954.4 <u>ジュネーヴ極東平和会議</u> (朝鮮・インドシナ問題) 1955.7 ジュネーヴ四巨頭会談
.10	<u>パリ協定</u> ↓		
1955.10	西独主権回復、NATO 加盟 ←→		1955.5 <u>ワルシャワ条約機構</u> 発足
.10	オーストリア国家条約 (永世中立国)		
.11	METO (バグダード条約機構) → '59 CENTO (イラクが革命で脱退、本部アンカラ)		1956.2 <u>フルシチョフ</u> 第一書記、「 <u>スターリン批判</u> 」 → “雪解け” へ

※ SEATO、METO など……米アイゼンハワー大統領 (国務長官ダレス) による「巻き返し政策」
OAS ('48 米州機構)、NATO ('49)、ANZUS ('51)、日米安保 ('51)

アジア情勢

▶ 中国……1946.6～ 国共内戦

1949年10月1日 中華人民共和国 建国宣言
毛沢東 国家主席(～ 59 辞任)・党主席(～ 76 死)
周恩来 首相(國務院総理、～ 76 死)

↓

1949.12 中華民国 国民政府は台湾へ。蒋介石 総統(1948～ 75 死)

※国際連合の議席(安保理常任理事国)は1971年まで中華民国が保有

※中華人民共和国に対する諸国の承認

- 1949 インド、ビルマ
 - 1950 イギリス、アトリー労働党内閣
 - 1964 フランス、ドゴール大統領
 - 1971.7 アメリカ、キッシンジャー大統領補佐官(後の國務長官)、秘密裏に訪中
ニクソン大統領もこれを公表し、自身の訪中予定発表
- ↓
- 1971.10 国際連合総会、中華人民共和国の加盟と台湾政府追放を可決
 - 1972.2 ニクソン大統領、訪中
 - .9 日本、田中角栄首相訪中、国交正常化
 - .10 西ドイツ、ブランド政権

▶ 朝鮮半島……1945.8 日本支配終了、米ソによる南北分割占領(北緯 38 度線)

ソ連参戦直後に米ソ間で協議し決定

- 1948年.8/15 大韓民国 建国……大統領 李承晩 (イ・スンマン、～'60)
三・一運動の際、上海に成立した大韓民国臨時政府大統領。
建国後は反共独裁。1960年、大統領選挙不正に対するデモ暴動で失脚。
- 1948年.9/9 朝鮮民主主義人民共和国 建国
金日成 首相(キム・イルソン、-72)・国家主席(72-94 死)
1912 生、幼時に満州移住。30年代に中国共産党入党。抗日運動に参加。

1950年6月25日 朝鮮戦争 勃発……北朝鮮軍、突如南へ侵攻。

- 6/27 国連安全保障理事会、「北の侵略」と可決。国連軍結成。
(常任理事国のソ連は棄権したため拒否権発動できず、全会一致。)
 - 6/28 北朝鮮軍、ソウル占領
↔ 国連軍苦戦、8月末までに釜山周辺まで追い詰められる。
国連軍総司令官 マッカーサー
 - 9/15 国連軍(米軍)、仁川 上陸。→ 10月、38度線を越え北上。
 - 10/25 中華人民共和国、義勇軍 を派遣し北朝鮮軍とともに反撃。
(これに対し満州空爆・原爆使用を説く強硬派のマッカーサー更迭、51.4)
- 以後、38度線を挟み戦線膠着。

1953年.7/27 板門店にて休戦協定……以後、軍事境界線が南北の国境に

▶ インド

- 1947 インド独立法……インド・パキスタンに分割し両国憲法成立まで英連邦内自治領
- 1948.1 ガンディ 暗殺（1つのインドを説いていたが熱狂的ヒンドゥー教徒により暗殺される）
- 1950 インド共和国成立……首相 ネルー（国民会議派、～'64）
- ・パキスタン……'47 自治領、初代総督 ジンナー（ムスリム連盟、～'48 死）
1956 パキスタン・イスラム共和国（英連邦内独立国、SEATO 加盟）
 - ・セイロン島……'48 英連邦内自治領セイロン → 1972 スリランカ共和国（英連邦内独立国）
 - ・バングラデシュ……東パキスタン → 1971 バングラデシュ独立宣言

▶ イラン

- 1951 モサデグ 首相就任。石油国有化法 → 英国系石油会社を国有化
- ⇕
- 1953 国王パーレヴィ 2 世、米・英と結び上からのクーデタ。モサデグ追放
60 年代に「白色革命」＝西欧風近代化、開発独裁

▶ インドネシア

- 1945.8/17 インドネシア共和国独立……1947-49 オランダ・インドネシア戦争後、独立確定
- スカルノ 大統領（国民党、-67）……AA会議・非同盟諸国のリーダー
共産党とも協力 → 反米・親中政策へ → 1965 国際連合脱退
- ⇕
- 1965 九・三〇事件……軍による共産党弾圧（同党壊滅）
1966 国連復帰、1967 スカルノ失脚
- 1968 スハルト 大統領（-1998、軍司令官、九・三〇事件首謀者）

▶ ヴェトナム

- 1945.9/2 ヴェトナム民主共和国 独立（← 8/25 日本の傀儡だった阮朝保 大帝退位）
ホー・チミン 大統領（共産党、-69 死）、首都 ハノイ
- 1946-54 第 1 次インドシナ戦争……再植民地化めざすフランスと戦う
⇔ 1949 ヴェトナム国成立（フランスの傀儡）、首都 サイゴン、元首バオダイ
1954. 5/7 ディエンビエンフー の戦い……フランス大敗
・ 5/8 ジュネーヴ 極東平和会議においてインドシナ問題扱い開始
・ 7/21 ジュネーヴ休戦協定
フランスの東南アジア撤退決定 ⇔ アメリカは調印せず
インドシナ 3 国独立、ヴェトナムは北緯 17 度線で南北分割
- ↓
- 南……1955 ヴェトナム国首相 ゴ・ディンディエム、バオダイ追放
ヴェトナム共和国 建国、初代大統領として独裁（～'63）
↑アメリカの軍事援助

雪解け

1952 米大統領選挙、朝鮮戦争停戦を公約に アイゼンハウアー 当選 (共和党、'53-61)
1953年3月 **スターリン死去**

1954年

⁴/₂₈-⁵/₂ コロンボ会議……インド、セイロン、インドネシア、パキスタン、ビルマ
宣言 ①. インドシナ停戦、②核兵器禁止 (←³/₁ 第五福竜丸事件)
③. 中華人民共和国の国連加盟、④. A A会議開催

※アジア・アフリカ新興国らによる「第三勢力」の形成、平和共存主張

⁴/₂₆-⁷/₂₁

ジュネーヴ極東平和会議

⁴/₂₆-⁶/₁₅ 朝鮮問題……米・英・仏・ソ・中華人民共和国
意見まとまらず、軍事停戦ラインが事実上の国境に

⁵/₈-⁷/₂₁ インドシナ問題 (←⁵/₇ ディエンビエンフーの戦い)

上記5国+ヴェトナム民主共和国、ヴェトナム国、ラオス、カンボジア

⁷/₂₁ ジュネーヴ停戦協定……インドシナ3国独立確定、フランス撤退
ヴェトナムを北緯17度で南北分割、2年後の統一選挙実施規定

↓

※アメリカは調印せず……ドミノ理論

ヴェトナムから他2国への共産主義波及を警戒、南ヴェトナムへの干渉

⁶/₂₈

ネルー・周恩来 会談…… 平和五原則 発表

①. 領土主権の尊重、②. 相互不可侵、③. 内政不干涉
④. 平等互惠、⑤. 平和共存

1955年

⁴/₁₈-24

第1回 アジア・アフリカ会議 (於インドネシア・バンドン、29国参加)
スカルノ、ネルー、周恩来らが主導、平和十原則発表

⁷/₁₈-23

ジュネーヴ四巨頭会談

アイゼンハウアー(米)、イーデン(英)、フォール(仏)、ブルガーニン(ソ)

1956年

²/₂-5

ソヴィエト共産党第一書記 フルシチョフ、『スターリン批判』演説
第20回党大会で個人崇拜・独裁・粛清を批判

↓

〔ポーランド〕 ⁶/₂₈ ポズナニ暴動、¹⁰/₂₁ ゴムウカ第一書記復帰(-1970) 反スターリン化

〔ハンガリー〕 **ハンガリー事件** ¹⁰/₂₃ ブダペストでデモ隊が秘密警察と衝突

¹⁰/₂₄ ナジ・イムレ 首相復帰(テイト議)、ワルシャワ条約機構脱退凶る

⇔ **ソ連、軍事介入し鎮圧**、ナジ首相逮捕 ('58 処刑)

以後、親ソ的カダル政権続く (-1988)

↑↓

※英仏のスエズ侵攻が同時進行のため西側諸国の批難も説得力無し

※核兵器の歴史

- 原子爆弾……1949 ソ連、1952 英、1960 仏、(1964 中国、1974 インド)
水素爆弾……1952 米が初実験、1953 ソ連、(1958 英、1967 中国、1968 仏)
1954.3月 米、ビキニ水爆実験 → **第五福竜丸事件**
1955.8月 第1回原水爆禁止世界大会 (広島)
1957.10月 ソ連、人工衛星スプートニク1号打ち上げ成功
=大陸間弾道弾(ICBM)が可能に (→1959 アメリカも)
1958.3月 ソ連、フルシチョフ首相就任直後に、核実験停止宣言
→8月 米英も条件付きで1年核実験停止

再緊張→緊張緩和へ

1959年

- ¹/₁ **キューバ革命** 成功……**カストロ**、ゲバラら、親米バティスタ政権打倒
⁹/₂₅₋₂₇ キャンプ・デーヴィッド会談……フルシチョフ訪米、アイゼンハワーと翌年パリでの会談を約束

1960年

- ⁵/₁ **U2型機事件**……ソ連が、領空侵犯したアメリカ偵察機 U2 を撃墜
⁵/₁₆ パリ会談席上、フルシチョフがアメリカを批難し会談流会
⁹ ~ 12月 第15回国連総会 = “**アフリカ総会**” (“アフリカの年” 17カ国独立)
緊張緩和宣言満場一致採択

1961年

- ⁵/₁ ハバナ宣言……キューバ、社会主義国宣言 (←¹月 米、キューバと断交)
⁶月 ウィーン会談……米 **ケネディ** 大統領、フルシチョフと初会談
ドイツ問題について、進展無し
⁸/₁₃ “**ベルリンの壁**” 構築……東独による労働者流出防止 (この年まで400万人)
⁸/₃₀ ソ連、3年ぶりに核実験再開
⁹/₁ 第1回 **非同盟諸国会議** ……於 **ベオグラード** (ユーゴスラヴィア)、25国参加
ティトー (ユーゴ)、**ネルー** (インド)、**ナセル** (エジプト)、**スカルノ** (インドネシア)

1962年 10月

“**キューバ危機**”

- ¹⁰/₁₄ 米 U2 偵察機、キューバにソ連のミサイル基地発見
¹⁰/₂₂ ケネディ大統領、キューバ海上封鎖声明、¹⁰/₂₄ 海上封鎖開始
¹⁰/₂₈ フルシチョフ譲歩、ケネディ宛書簡でミサイル基地撤退を表明

- 1963年 8月** **部分的核実験停止条約** (大気圏内外水中核実験停止条約) 締結 米英ソ調印後、約100国が続く
→緊張緩和 (**デタント**)、KK時代 (Kennedy、Khrushchov)

しかし ¹¹/₂₂ ケネディ暗殺

1964年 ¹⁰/₁₅ フルシチョフ失脚 →多極化の時代へ